

半夏生

6月終盤の大雨で地盤が緩み、幾か所かで土砂崩れが起きています。週が替わり、また梅雨前線が活発になり、大雨の心配が出てきました。梅雨の後半、ちょうど今頃の雨は半夏雨ともいわれますが、大雨になることが多いといわれます。大雨というと30年豪雨が思い出され警戒の念が強まります。

本校の周辺は、ここ数年で道路事情が変わっており、近隣に住まいする教職員も少ないことから、防災マニュアルの確認、修正を行いました。

今まで出入りしていなかった北側に、大きな道ができたことから、二次・三次の避難場所や避難経路も修正をかけていきました。

マニュアルの見直しはしたのですが、活用することがないよう、安寧な日々が続いてくれることを祈ります。

ところで、今週は夏至から数えて11日目の週になります。七十二候では第三十候、半夏生です。「半夏」とは、「からすびしゃく」というサトイモ科の薬草のことです。細長い葉柄が茎をくるむように筒状に丸まり、先が小さな柄杓（スプーンのような形）のようになっている植物です。道端にあるか探してみてください。

普段の生活では気に掛けることがないのですが、いつの間にか季節は移ろい、変わっています。気象への意識は高く持ちながら、道端の自然にも気を留めて、季節を感じていたいものです。

白岳中学校長